

2013-14 年度 RI テーマ



2013-2014 RI 会長：ロン D. パートン
RI 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
例会日：木曜日 12：30～13：30
例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケット・ホール
Tel.04-2963-1111

会報委員長：関谷 永久 当番：忽滑谷 明
事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101 号
Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 27 号 2796 回例会 2014 年 1 月 16 日 (木) 例会場 丸広・さくら草ホールに変更

お客様

埼玉りそな銀行 入間支店長	鈴木 俊太郎	様
飯能ロータリークラブ 会長	吉田 武明	様
幹事	山岸 敬司	様
	吉澤 文男	様
	神田 敬文	様
	川口 浩	様
	間邊 元幸	様
	本橋 勝	様
	矢島 高明	様
	大崎 光二	様
	福島 毅	様
出席委員長	塩野 裕	様

会長の時間

友野政彦会長

今年はどうな年になるのでしょうか。財政状況につきましてはこの後鈴木支店長さんにお話いただきますし、都知事選も面白いのですが今日は全く違うことをお話いたします。先日天文年鑑によって今年的主要な天文現象を調べてみました。見ものとしては、4月に火星が地球に接近・10月に皆既月食・8月から始まるガリレオ衛星の相互食が11月に見ごろを迎えることなどが記載されていました。ガリレオ衛星とは、17世紀の初めにガリレオが自作の天体望遠鏡で発見した木星の4つの衛星、イオ・エウロパ・ガニメデ・カリストのことです。この衛星どうしがお互いを隠したりまた隠されたりする現象を相互食といい、小さな望遠鏡でも観察できます。ただ昨年や一昨年と比較すると全体に地味な印象です。昨年はアイソン彗星が観察できましたが、発見当初は百年に一度の大彗星になるのではないと言われていました。結果は全くの期待外れでしたが、とてもワクワクさせられました。一昨年は金環食が観られました。リング型の太陽を観察された方も多いのではないのでしょうか。観測用のグラスもずいぶん売れたようです。しかし一生に一度観てみたい天文ショーを挙げるとすれば皆既日食と超新星爆発です。皆既日食については、いつどこで起こるか100年以上先まで皆既継続時間も含めて明らかになっています。今年は見ることができませんが来年は北太平洋や北極海で、再来年はインドネシアなどで観測できます。今後日本で観ることができるのは2035年9月2日が最初になります。一方の超新星爆発は原則としていつ起こるのか全く予測できないのですが、オリオン座のベテルギウスにおいて間もなく超新星爆発が観られるといわれています。満月以上の明るさになるとの事です。尤も天文学における「間もなく」ですので千年先かもしれません。なお、ガリレオは1604年に超新星爆発を観察しています。



皆様ようこそいらっしゃいました。

米山功労者

マルチプル6回目=齋藤金作会員
功労者=晝間和弘会員, 宮崎正文会員
米山功労クラブ 22回



幹事報告

西山祐三幹事

1. 齋藤栄作会員、次年度地区社会奉仕部門委員長に指名
2. 1月度ロータリーレート 1 ドル 102 円
3. 1/26 第 4 回日台ロータリー親善会議
4. 2/8 第 2 回R財団及び補助金管理セミナー
5. 1/23 入間万燈まつり実行委員会
6. 1/24 入間市国際交流協会理事会及び新年会
7. 1/28 入間市社会福祉協議会第 3 回評議委員会

●委員長報告

プログラム委員会

晝間和弘委員長

2月の第4例会は武蔵野音大にあります楽器博物館の見学を予定しております。日本の中でも大きな規模の楽器博物館と聞いておりますので奮ってご参加下さい。併せまして今月第4例会・新年会の参加も宜しくお願い致します。

ロータリー財団

平岡達也委員

10年ほど前に入間ロータリークラブがお世話しました、財団奨学生の宮岡陽子さんから近況報告のお葉書が届いておりますので回覧いたします。アメリカに留学しそのままご結婚されて、最近お家も造られたとの事です。

<ニコニコBOX>

滝沢文夫SAA

飯能ロータリークラブの方々から～お世話になります。友野政彦君、岩崎茂君、忽滑谷明君～飯能RCの皆様ようこそ、鈴木支店長今日は宜しくお願い致します。西山祐三君、山岸義弘君、宮寺成人君、荒井正武君、田中快枝君～鈴木支店長卓話宜しくお願い致します。西山祐三君、石川嘉彦君、平岡達也君、加藤国夫君、吉永章子君～飯能RCの皆様ようこそ入間クラブへ。

本日¥21,000

累計¥580,000

<出席報告>

木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	30名	75.0%	72.0%

事前欠席連絡 3名

■回覧、配布物

- ①ロータリーの友電子版のご案内
- ②シドニー国際大会の親善朝食会について
- ③茶の香めーる Vol. 51
- ④ハイライトよねやま 166
- ⑤2013年 10, 11, 12月出席表
- ⑥1/30 新年会参加申し込み
- ⑦他クラブ週報
- ⑧週報 26号

講師卓話

『日本の財政状況について』

埼玉りそな銀行入間支店長 鈴木 俊太郎 様



本日はお招きありがとうございます。飯能ロータリークラブの皆様もお見えになっての大所帯にビックリしております。私は銀行員生活 25 年のうち 12 年間にリーディング

ルームにりましたが、その当時(1990 年代前半)と外部環境や経済環境が違う事を踏まえて今日はお話させていただきます。

2013 年に日銀総裁に就任した黒田東彦総裁が率いる日銀がアベノミクスのもと実施している「異次元緩和策」とは何か。また金融緩和の狙いと波及経路そして日本国債の現状につき短い時間ではありますがご案内致したいと思えます。

大胆な金融緩和、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を「3本の矢」とする安倍政権の「アベノミクス」に為替市場や株式市場が反応し、円安・株高が続いています。中でも金融政策が大きな焦点になっています。その中で 2013 年 4 月 3 日、4 日の日本銀行金融政策決定会合で大胆な金融緩和策が採られる事となりました。その効果を巡っては、金融市場や経済学会でも大きく議論が分かれるところです。しかしながら今世界中で「景気対策中央銀行頼み」が強まっています。どの国でも財政が大幅な累積赤字状態だからです。実際日本の借金も初の 1000 兆円台となるなど景気対策としての財政発動の自由度が落ちてきています。日本の借金が多いのは事実ですし、危機をあおる書籍も書店で目立ちますが、重要な事は国債の問題もトータルな経済環境の推移の中で冷静にとらえるべき事だと思えます。



会報委員会 (関谷・平岡・忽滑谷)